

# ななかまど

札幌市立中島中学校  
学校通信 第1号 令和8年  
(2026年)4月10日

## 新たな一年の始まりに当たって 校長 桑原 俊二

令和8年度の中島中学校がスタートしました。地域・保護者の皆様、今年度も引き続き、中島中学校の教育活動への御理解と御支援をいただきますよう、よろしく願いいたします。

以下は、4月8日(水)始業式において、新2、3年生の子どもたちにお話しした内容です。

今日から中島中学校の令和8年度がスタートします。

皆さんは、春休みの充電期間を過ごし、進級する喜びと期待、そして少しばかりの不安を胸に、今日登校をしてきたことと思います。改めて、新3年生、新2年生の皆さん、進級おめでとうございます。明日入学する新入生を加え、新たな中島中学校がスタートします。

3年生の皆さんにとっては、進路を決めるなど、大切な一年になります。学習をしっかり頑張ることはもちろん、修学旅行、部活動、生徒会活動や様々な学校行事などの場面で、最高学年として、力を発揮する一年になると思います。

2年生は、中堅学年として、中島中学校が大切にしてきたものを3年生から学びながら、後輩の1年生に伝えるという役割が求められます。そして、学校の次のリーダーとなる自覚をもって日々の生活に臨んでほしいと思います。

さて、新たな一年の始まりにあたり、皆さんに特に意識してほしいことを2つお話しします。

1つ目は、「自分のよいところを伸ばす」ということです。皆さんには、たくさんのよいところがあります。例えば、早寝早起きができる、英語や体育が得意だ、絵が上手だ、友達にやさしい、家のお手伝いをよくする、など何でもよいです。しっかり考えると10個くらいは思いつくと思います。それら、自分のよいところをさらに伸ばしてほしいと願っています。

また、友達のよいところもたくさん見付け、その友達に伝えてあげてほしいと思います。きっと、その友達も、よいところをほめてくれると思います。先生方も皆さん一人一人が気付かない

ようなよいところを見付け、励まし褒めながら、支えてくれます。私も、皆さんのよいところを探したいと思います。皆さん一人一人のよいところをどんどん見せてほしいと思っています。

特に意識してほしいことの2つ目は、「夢と挑戦」ということです。「こうしたい」「こうなりたい」といった目標をもち、自分の夢を育てて、その実現に向けて挑戦することです。まずは、自分が実現したい夢をしっかりと考え、育んでください。そして、その夢の実現のために、「今」何をするのか、「いつ」何に努力を傾けるべきかを明確にしてチャレンジしてほしいと思います。

挑戦した数だけ失敗は増えます。けれども、失敗を恐れてはいけません。失敗の数だけ成功は増えますし、夢や目標に近づくのだと思います。失敗は成長なのです。できるかできないかは、やってみなければわかりません。結果がどうなるかよりも、大事なことは、それをやったかどうかです。思ったような結果を手に入れられなくても、挑戦することによって、前の自分より、何歩も前に進んでいるはずです。新年度の始まりは、改めて夢や目標を明確にし、実現に向けた計画を立てるのに最適な時期です。皆さんが今年一年で様々なことにチャレンジし、大きく成長し飛躍することを願っています。

さて、明日は皆さんの新たな仲間となる新入生が入学してくる、入学式です。新入生の中には、不安な気持ちや心配な思いをもって明日を迎える人もいるのではないかと思います。皆さんは、先輩としての自覚と誇りをもちながら、温かく優しい気持ちで新入生を歓迎し、笑顔で迎えてほしいと思います。

最後に私の目標を話します。私は、この中島中学校を笑顔があふれる学校にしたいです。できれば日本一笑顔があふれる学校にしたいと思っています。わからないことがわかり、できなかったことができるようになったことで、難しいしかめっ面が笑顔に変わる。辛い思いをしている人や悲しい気持ちの人に寄り添い、思いやりをもって温かく接することで、その人を笑顔に変える。そんな中島中学校にしたいと思っています。これを実現するためには、全校生徒の皆さん一人一人の力が絶対に必要です。「笑顔があふれる学校」そんな中島中学校をみんなで力を合わせてつくっていきましょう。今日から始まる一年間が、全校生徒の皆さん一人一人にとって、実りの多い一年になることを心から願っています。

(2026年4月8日始業式より)